



こくろうよなご

第5号
2024年11月10日
発行責任者 倉下文明
編集 教宣部

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！



会議に先立ち、倉下委員長より「先の衆議院選挙では、自民党派閥の裏金疑惑への国民の怒りが高まり、自公与党の過半数割れ、野党の躍進という結果になった。鳥取・島根に於いては、亀井候補の当選を勝ち取ったが、前職の湯原氏と新人の二人の候補は議席を得ることが出来なかった。私たちの取組みはどうだったかなど、しっかりと総括していきたい。各機関の定期大会が終了し、新たな役員体制のもと今年度の運動もスタートとなる。大会では、年休が取れない・異常時の対応への負担が大きいなど要員不足からくる様々な弊害も報告されている。職場からの改善に向けた丁寧な取り組みが求められており、そのための意思統一をお願いしたい」など、挨拶がありました。

この間、駅の無人化・営業時間の縮小が進み、乗務員でいえばワンマン運転が拡大する中で、不正乗車が増えたり、草木の伐採が追い付かず空転に繋がったり、レールを痛めることで乗り心地も悪くなるなど、サービス低下にも拍車がかかっていることが報告されています。また、社会人採用の方が各職場に配属され

去る11月2日、各支部・分会代表者会議を開催しました。当日は、季節外れの大雨により支社内全ての列車が終日運休となったことから、急遽、リモート形式に変更、10月末で全ての機関整備も終了したことから、定期定期大会で明らかとなった課題や今後の組織の在り方などについて議論してきました。

ストレスフルな職場環境の中で！ 各支部・分会代表者会議を開催

配属間もないのに・

制のもと今年度の運動もスタートとなる。大会では、年休が取れない・異常時の対応への負担が大きいなど要員不足からくる様々な弊害も報告されている。職場からの改善に向けた丁寧な取り組みが求められており、そのための意思統一をお願いしたい」など、挨拶がありました。

10月27日、衆議院選挙が開票となり、米子地方本部推薦候補は、島根県第一選挙区の亀井亜紀子候補が当選、鳥取県第一選挙区の朝倉浩之候補・鳥取県第二選挙区の湯原俊二候補、島根県第二選挙区の大塚聡子候補は残念ながら議席に手が届きませんでした。選挙にご協力いただいた組合員・ご家族の皆様、大変お疲れさまでした。

全国的にみると旧統一教会との関係や自民党派閥の裏金疑惑に見られる金権腐敗政治へ

また、工務系の職場においても、「入社間もない社員がメンタルヘルスを患い休職」したり、「運転職場でも仕事に出れない仲間がいる」などの報告がありました。ある職場では、下期の個人面談の際、「パワハラ・セクハラはなにか」などの質問も出されていたという話も出ていましたが、ストレス

スフルな職場環境の中で、上司と部下の関係のみならず、同僚間でもハラスメントが起きやすい環境にあることを会社としても認識を深めているように感じます。

また、会議では「国労組織の在り方」などについても、議論になりました。引き続き、かなければなりません。

一方、今衆議院選挙における投票率は約53%で、今の選挙制度になつてから3番目に低いものとなりました。



この気持ちを忘れず、政治闘争の強化に向けてさらに奮闘していきましょう。

一方、今衆議院選挙における投票率は約53%で、今の選挙制度になつてから3番目に低いものとなりました。有権者の約半分近くが投票に行っていないこととなります。皆さんの周りの方々はきちんと投票に行かれたでしょうか。

また、会議では「国労組織の在り方」などについても、議論になりました。引き続き、かなければなりません。

一方、今衆議院選挙における投票率は約53%で、今の選挙制度になつてから3番目に低いものとなりました。有権者の約半分近くが投票に行っていないこととなります。皆さんの周りの方々はきちんと投票に行かれたでしょうか。

亀井亜紀子候補が当選 朝倉・湯原・大塚各候補は 議席獲得ならず

立憲民主党が躍進！

国民の怒りは大きく、過半数の233議席と

一方、今衆議院選挙における投票率は約53%で、今の選挙制度になつてから3番目に低いものとなりました。

一方、今衆議院選挙における投票率は約53%で、今の選挙制度になつてから3番目に低いものとなりました。